

## 令和 2年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	元田 敏夫
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		<b>実施計画事業費</b>		<b>内線</b>	3613
<b>事務事業名</b>	13516 中学校施設整備事業										
<b>所 属</b>	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
<b>施 策</b>	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進										
<b>予算科目</b>	<b>会計</b>	01 一般会計									
	<b>科目</b>	100301 教育費・中学校費・学校管理費									
	<b>事業</b>	030000 中学校施設整備事業									
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
学校施設の長寿命化や環境整備を行い、生徒の安全確保や教育環境の改善を図る。						生徒が安全で快適に学校生活を送れるよう、学校施設の危険箇所や痛みの著しい箇所を優先的に改修する。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 実績</b>
相森中学校昇降口外壁改修工事 中学校屋内運動場・武道場非構造部材耐震化工事（3校）	
<b>平成29年度 実績</b>	<b>平成30年度 実績</b>
中学校放送設備更新	常盤中・相森中トイレ改修工事 中学校放送設備更新
<b>平成31年度 実績</b>	<b>令和 2年度 予定</b>
墨坂中・東中トイレ改修工事 中学校放送設備更新	中学校放送設備更新

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		188,731	20,000
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	184,600	14,000
	その他	3,000	1,000
一般財源		1,131	5,000
人員数(人)	正規職員	0.4	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,906.0	2,179.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,906.0	2,179.5
市民一人当たりの経費		3.7	0.4
総額		191,637.0	22,179.5

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	2,910	設計委託料
15節 工事請負費	184,635	中学校防災機能強化工事
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,186	中学校放送整備更新

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,000	設計委託料
14節 工事請負費	10,000	中学校防災機能強化工事
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	9,000	備品購入費（放送設備更新）

## CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	必要不可欠
評価コメント	生徒が安全で安心して快適に学校生活が送れるようにするために必要不可欠。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	大変有効
評価コメント	生徒が安全で安心して快適に学校生活が送れるよう施設整備を行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	施設の状況を把握し、経年劣化による危険な場所や損傷の著しい場所を優先して改修を行っている。	

## 振り返り（決算年度の取組み課題）

施設の状況を把握する中で、今年度、学校施設長寿命化計画を策定した。今後は、当該計画に基づき、生徒が安全で安心して学校生活が送れるように、老朽化した学校施設の計画的な改修等を進めていく。

## ACTION

## 1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 総合評価コメント

学校施設の計画的な改修等を進めることができた。

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

## 2次評価コメント

公共施設の維持管理が大きな課題となる中、学校施設の長寿命化計画を策定し、計画的な維持修繕に努めることで、快適な教育環境の維持とコストダウンを図ることが重要。

## 外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

## 外部評価コメント

--